

六月の法座・行事

十日・同朋の会例会(座談会)
 大阪教区第七組
 教應寺住職 建部 智宏 師
 大阪教区第七組
 長教寺住職 稲垣 洋信 師
 (午後二時)

十二日・闡如上人御逮夜・常永代経
 (午後二時)

十三日・闡如上人御命日(午前八時)

十八日・存如上人御祥月御命日
 (午前八時)

二十三日・二十四日
 ・夏の御文法要(午後一時半)
 天満別院輪番 武宮 信勝

二十四日・正信偈書写の会(午前十時)

二十七日・宗祖聖人御逮夜(午後二時)

二十八日・宗祖聖人御命日(午前八時)

※今月の定例法話は夏の御文法要勤修の為、お休みです。

◆敬弔

生前の徳を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

法名 無上院釋安立

俗名 川地 辰弥

四月二十六日寂 享年七十二歳

今月の法語

自力の

御はからいにては

眞実の報土へ

生まるべからざるなり

『親鸞聖人御消息』

※皆様、是非一度、天満別院ホームページもご覧下さいませ。

霊園・墓石



株式会社 太田石材店

本社 〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号
 本店 〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目2番18号
 TEL 06-6930-5075
 0120-30-5075
 FAX 06-6930-5078

編集後記

私ごとですが、先日兼ねてからお付き合いしていた彼女と結婚、入籍いたしました。改めて自分たちは多くの方に支えられていることに気づかせていただき嬉しかったです。

これからはより一層、御本尊を中心とした六字城の生活を大事に営んで参りたいと思います。



堀河

六字城

「和讃のおはなし」

真宗大谷派 鍵役

宣心院 大谷 暢文

『現世利益和讃(十四)』

無碍光佛のひかりには

無数の阿弥陀ましまして

化佛のおのことごとく

眞実信心をまもるなり

(無碍光佛のおひかりには、無数の阿弥陀さまがいらっしやるのです。阿弥陀さまが、そのお姿を教化する仏さまに変えられて、それぞれの教化する仏さま方が眞実信心を得た念仏する者たちをお護りになるのです。)

発行 真宗大谷派(東本願寺)天満別院

大阪市北区東天満一―八―二六

電話 六三五―一―三五三五
 代表者 輪番 武宮 信勝

このご和讃も、前回と同じく『観無量寿経』に依っています。眞身觀の「円光のなかにおいて、百万億那由他恒河沙の化佛まします」と、普觀の「無量寿佛の化身無数にして、觀世音・大勢至とともに、つねにこの行人の所に來至したまふ」というところです。無数の阿弥陀さまの化身が「行人の所に來至したまふ」とありますが、この行人こそが眞実信心を得た念仏者です。つまり、眞実信心を得た念仏者の下にすぐさまいらっしやり、絶えず護ってくださるということです。

經典の中で阿弥陀さまは、さまざまの言葉で表されます。親鸞聖人のご和讃の中でも「無碍光佛」「ひかり」「無数の阿弥陀」「化佛」とあります。単に「阿弥陀さま」だけでいいのではありませんかと思われるでしょうが、より一層阿弥陀さまのお力を私たちに知らせるために、このようにいくつもの表現がなされているのです。たとえば、私た

ちの身の回りでも妻からは「あなた」と言われ、子供からは「お父さん」と呼ばれます。会社に行けば「課長さん」などと役職で呼ばれることでしょう。同じ人間でも、さまざまに表現されることで、その人の立場や役割がより具体的に理解できることでしょう。

阿弥陀さまの場合も、「無碍光佛」という場合には、阿弥陀さまのお力が何ものにも妨げられないことが表されます。「ひかり」という場合には、阿弥陀さまのお力が、私たちに届く様子を表しています。まさに光のごとく、一瞬にして満遍なく私たちに届くわけです。「無数の阿弥陀」という場合には、無数にいる私たち一人ひとりに寄り添ってくださることを表し、「化佛」という時には、私たちを直接教え導いてくださるあり方を表しています。このように受け取っていくと、阿弥陀さまを、より一層身近に感じられるのではないのでしょうか。

輪番雑感

「愚かなる者へのうながし」

輪番 武宮 信勝

この頃、新聞はほぼ毎日のように「森友学園」「加計学園」・日大生のアメフト「負傷事件」等に関わる記事が紙面を覆っている。何が真実なのか不透明な事柄に対し国民全体がイライラしているように思える。朝日新聞「川柳」欄に

・真実は言葉の隠れんぼ
(5/26 神奈川、北村純一)
・堂々とウソの言える人の多いこと
(5/25 奈良、木村美津恵)
・二十歳に劣る覚悟の違い
(5/25 千葉、栗山寿梨)

数年前の『法語カレンダー』に「愚とは深い知性と謙虚さである」という言葉を思い出しました。愚者に帰ることはなかなか至難であります。この私に「何とあなたは愚かなる者ぞ！」と言いついでくださるお方に遇わない限り目覚めることはないではありません。

そのお方こそ、南無阿弥陀仏と名告っておられる阿弥陀さまです。何故

人は自分のあやまちを素直に認めないのでしようかねえ。認めれば認めなければ相手に責められ、認めなければ「業」のしがらみから逃れることはできないのであります。報道にある様々な事象を客観的に他人事のように終わるのではなく、その底に流れている「業」のあらわれを自分の事として感受すると、他人事ではない我身を知らせてくださる(権化の仁)ことになるご縁ともなります。

覚如上人の『口伝鈔』に「まず凡夫は、ことにおいて、つたなく、おろかなり。その奸詐なる性の実なるをうず(埋)みて賢善なるよしをもてなすは、みな不実虚仮なり」(真宗聖典 P.470) (阿弥陀さまは、私を凡夫の身と言いついでくださる。自分の身体にしみこんでいる煩惱によって、欲や怒り腹立ち妬みの思いが止むことのない私は、なんと愚かな者であります。嘘や計略で人をおとしめようとすることを隠して、まことしやかにふるまう事は、見せかけだけでもっともらしく見せる、偽りの姿です。) 意訳 輪番

獅子吼の会連続法話の会

左記の通り現代法話研究会獅子吼の会主催の連続法話の会が開催されます。皆様のお越しをお待ちしております。

記

日時 六月五日(火)
午後四時～午後六時
会場 天満別院 本堂
講題・講師

- 第一九五条 「人のわるき事は、」
三好泰紹師(泉大津市・蓮正寺)
- 第二一二三条 「心得たと思うは、心得ぬなり」
稲垣洋信師(淀川区・長教寺)
- 第二三九条 「南無阿弥陀仏の主になる」
廣瀬俊師(東大阪市・法観寺)
- 第二四四条 「五劫思惟の本願に
すぎたることはなし」
山雄竜磨師(堺市・以速寺)

夏の御文法要

左記日程の通り夏の御文法要を勤修いたします。

記

日時 六月二十三日～二十四日
午後一時三十分から勤行
会場 天満別院 本堂
法話 天満別院輪番 武宮 信勝 以上

前合祀墓跡地

三月より新しく建碑されました合祀墓の納骨受付が始まりました。今まで合祀墓があった場所には、先日、武宮輪番と矢裂用務員の手によって今は花壇となり、綺麗なお花が咲いています。



門徒会総会のご案内

二〇一八年度天満別院門徒会総会を左記の日程にて開催致します。尚、総会終了後、懇親会を予定しております。

記

総会
日時 六月二十四日(日)
午後四時より
場所 天満別院 一階講堂
懇親会
場所 日本料理 楽待庵
大阪市中央区大手前
一七七一三十一
OMMビル二十一階
時間 午後五時半より
会費 六千円

門徒会会員の方々には、ご案内のお手紙を同封しております。ご確認のうえ、ご返送頂きますよう何卒宜しくお願い致します。

報恩講習礼のご案内

この度、天満別院では大谷暢裕門首後継者御参修のもと報恩講が厳修されます。つきましては、教化委員会法要部会主催による報恩講習礼を左記の日程で開催致します。対象者は得度を受式された方であれば、どなたでもご参加できます。是非ご参加ください。ようお願いします。

記

日時 七月十二日(木)
午後五時～午後七時
正信偈(句切)習礼及び心得
八月四日(土)
午後五時～午後七時
巡讃内陣出退の習礼及び心得
九月二十七日(木)
午後五時～午後七時

出退・巡讃の習礼及び確認
場所 天満別院
お申し込みは天満別院寺務所へ FAX、又はお電話でお申し込みください。